

クール
チョイス
COOL CHOICEとは

【お問い合わせ】
生活課環境係 ☎62-1110

2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。北秋田市もこの運動に賛同し、さまざまな低炭素社会実現に向けたアクションを実施していきます。

温暖化の大きな原因であるCO₂（二酸化炭素）。これまで環境に配慮していないモノ・コトを選ぶことで、CO₂排出量が増えてしまっていたのです。

そんな地球のこれからを日本のアイデアと最先端技術で変えようとしています。資源の限られた国だからこそ生まれた賢い省エネアイデア。そして世界からCOOLと賞賛される最先端技術。その2つが合わさった「次世代の暮らし方」を選んでいくことが、CO₂排出を抑える力になるのです。消灯、温度設定、節水などの普段の行動に加えて、クルマ、家電、住宅など身の回りのものを選ぶとき、これから目線で選んでみませんか？



低炭素社会実現に向けたさまざまなアクション

クールビズ

冷房時の室温を28度で快適に過ごせる軽装や取り組みを促すライフスタイルです。オフィスだけでなく、家庭でも実践できることがたくさんあります。ポロシャツやかりゆし、機能・素材をいかしたアイテムの着用！グリーンカーテンで涼しい木陰に！1つの部屋に集まって一家団らん！エアコン稼働も1台に！夏野菜やかき氷をおいしく食べて身体の中からクールダウン！



ライトダウン

消費電力の削減のためにできることもたくさんあります。北秋田市役所でも就業前とお昼の1時間は庁舎内の照明を一斉消灯し、消費電力の削減に努めています。また、環境省では地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の照明を消していただくよう呼びかけている「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」などを実施しております。



エコドライブ

燃費消費が少なくCO₂削減につながる、環境負荷の軽減に配慮した自動車利用への取り組みです。急がない。乱暴にならない。ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ。環境への負荷や、交通事故が減り、あなたやあなたを取り巻く人の幸せにつながっていきます。



グリーンカーテンプロジェクト

夏のCO₂削減、節電対策として、植物で作るグリーンカーテンの取り組みも広がっています。窓からの日射の侵入を防ぎ、家のまわりの表面温度も抑えることができます。実がなる植物などでグリーンカーテンを作るなど、生育や収穫も楽しみながら、夏は涼しく、地球にやさしい暮らしをしてみましょう。



6月は環境月間

6月5日は環境の日です。日本では「環境基本法」が「環境の日」を定めていて、平成3年から6月を環境月間と位置づけ、全国各地でこの趣旨にふさわしい行事や啓発活動を行っています。自然豊かな美しい北秋田市を次世代に引き継いでいけるように、6月の環境月間に、環境について考えてみましょう。



**環境問題対策に
一人一人の行動が影響する理由**

梅雨入りも迫る6月、いかがお過ごしでしょうか。雨といえば、「酸性雨」という言葉を耳にしたこともあるかと思いますが、実は雨はもともと弱酸性なのです。ところが、工場や自動車など産業活動によって発生する大気汚染物質により、土壌や建造物に影響を与えてしまう程、雨の酸性が強くなってしまい問題となりました。

解決に向け大気汚染物質を減らすためにはどうしたらよいのでしょうか。何か私たちにできることはあるのでしょうか。今のコラムでは、酸性雨や地球温暖化などの大規模な環境問題について、私たちができること、それがどんな形で対策に繋がるのかということについて掲載いたします。

前述のとおり、酸性雨の原因は産業活動によって発生する大気汚染物質であり、地球温暖化の原因も同様に、産業活動によって排出される温室効果ガスです。つまり産業活動から排出される原因物質の排出量をうまく削減することが重要です。私たちが大量消費せず、3R（リユース・リデュース・リサイクル）などの活動をしていくことが、製造業等の工場から排出される量を減らします。日常生活の電力消費を抑えることで、発電所の燃料消費が抑えられ、排出量が減ります。エコを考えた車の利用により、排気ガスの量と燃料の消費量が減ります。このように、私たちの生活は、間接、直接的に大気汚染物質や温室効果ガスを変動させることができるのです。

小さな日常の選択は、積み重なって地球を変えていきます。「なぜ省エネ活動が推進されているのだろう」「ごみの分別やリサイクルなんて面倒だな」と思ったのなら、その行動にどんな意味があるのか、本質的な部分も考えてみると、やる気アップにつながると思います。

